

お米のはなし

お米や稲に関するちょっとした情報・豆知識を専門家が綴る「お米のはなし」の第74弾をお届けします。

(シリーズ担当：R.I.)

第74話 水田の主な雑草

ここでは、数多くある水田雑草の内、まず主なものを、星川(1980)による「主な水田雑草」の11種を図74-1に示します。



図74-1 主な水田雑草
 (出典) 新編食用作、星川清親、養賢堂、1980年、pp133

次に、主な水田雑草のいくつかを以下に写真でも示します。

ノビエ *Echinochloa* spp.

雑草として生えるヒエのことを総称してノビエと呼びます。イネと外観が似ており、大型なので雑草害も大きく、水田で最も重要な雑草です。イネを枯らさずにヒエは枯らすことができる除草剤が、1960年代に開発され、その後も続々新型剤が出てきており、現在ではあまり大きな問題ではなくなりました。

昔からイネと似ていて除草されなかったノビエが次世代を残すことができ、それが繰り返されてきました。

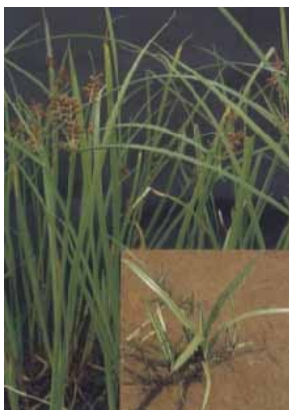


ヘラオモダカ *Alisma canaliculatum*

多年生雑草。葉がへらの形に似ているのでヘラオモダカと呼ばれます。1株2000個ぐらいの種子を生産し、発生量が多く、大型で養分収奪量も多いので強雑草となっています。

ウリカワ *Sagittaria pygmaea* Miq.

多年生の雑草で「イモ」で増殖します。小型だが繁殖が早くて、水田全面を覆うこともあります。そうすると20~30%の減収となります。葉がウリの皮に似ていることからウリカワと呼ばれています。

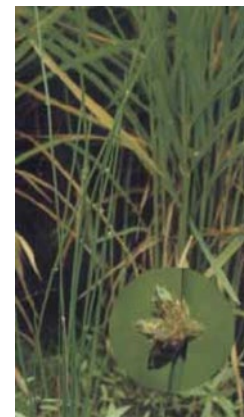


ミズガヤツリ *Cyperus serotinus* Rottb.

1mにもなる大型雑草で、株がどんどん分株して増え短期間で増殖します。種子とイモと両方を生産しますが、イモは低温に弱く乾燥状態では越冬できない。春先、種子から芽を出して増えます。除草剤に比較的強いので防除しにくい雑草です。

イヌホタルイ rock bulrush ; *Schoenoplectiella juncooides* (Roxb.)

生成した穂が「蛍」に似ていることからホタルイと呼ばれています。種子の寿命が長く、毎年必ず発生する雑草です。種子の産生量が多く、問題となりやすい雑草なので、除草剤だけではなく、よく耕して種を土中に埋めてしまうなどの工夫も必要です。



アゼナ *Lindernia procumbens*

主に畦に生えるのでアゼナの名前がついています。一部は田に侵入して雑草となります。小型で繁殖力も強くないので、あまり問題となっていなかったが、最近になって除草剤が効かない個体（除草剤抵抗性雑草）が繁殖しはじめ、大きな問題となっています。



以上、写真とその説明は、
農薬ネットー病害虫図鑑－雑草編 <http://nouyaku.net/tishiki/ZUKAN/ZKUSA.html> から引用しました。

発行：(公社)国際農林業協働協会(JAICAF)
〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目10-39 赤坂KSAビル3階